

アラズ、或ハ乗騎度ニ合ハズ、牽行節ニ中ラザルガ故ニ、終ニ邪ヲ生ズルニ至ル、慎ズンバアルベカラズ、抑癖アル馬ニ騎ニ、其教化寛和シテ、善剛ニ、柔順ニシテ善實アルニアラザレバ、衆癖終ニ治スコト能ハズ、蓋馬皆必ズ性ニ邪曲ナキニシモアラズ、適得テ邪アルガ如キモ、馭人心正ク氣一ニシテ妄ニ之ニ悖逆セズ、善其中ヲ得テ以テ御育スルトキハ、則其邪發スルコト無シテ、終ニ馬蹄ノ能ヲ失セズ、且夫衆馬ニ騎ニ、先癖ノ萌生スルヲ察スルニアラザレバ、馭ノ道ニ入コト能ハズ、

〔倭名類聚抄^{十一}〕驛馬。孫愐曰、驛音早、今按、此、間、波、禰、無、萬、突惡馬也。

〔箋注倭名類聚抄^七〕廣韻引說文曰、馬突也、玉篇亦云、馬突也、蓋謂馬之突也、按韓非子五蠹篇、無轡策御驛馬、淮南子汜論訓、御駢馬、注駢馬、突馬也、驛駢同字、然則驛馬二字訓突馬、單驛字不得訓突馬也、此所引恐有誤、

〔今昔物語^{二十二}〕内麻呂大臣乘惡馬語第四

今昔内麻呂ノ右大臣ト申ケル人ハ、略而ルニ此ノ大臣年未ダ若ク御ケル時ニ、他戸ノ宮ト申ス太子御ケリ、白壁ノ天皇ノ御子也、其ノ人心猛クシテ人ニ被恐テナム御ケル、其ノ時ニ一ノ惡馬有ケリ、人ノ乗ラムト爲ル時ニ必ズ踏咋ケリ、

〔古事談^六〕宇治殿藤原ワカク座ケル時、花形ト云揚馬ヲタテマツリケルヲ、兼時ト云ケル御隨身奉見テ、此馬腹立候ニタリ、トクオリサセオハシマセト申ケレバ、下サセ給テ他人ヲ乗テ御覽ジケレバ、御馬臥マロビ、乘人ヲクヒナドシケレバ、御堂召兼時テ纏頭云々、

〔倭訓栞^{中編}〕あげむま 東鑑に馬長をよめり、又揚馬とも馬上とも見ゆ、神社に奉る馬なるべし、

〔續古事談^五〕右大將通房、春日使セラレケルニ、カタノ大將ニテ、大二條殿藤原イデタチノ所